Η

SK毎月十二回

一・三・五・

十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)発行





2

6

# 季刊わたぼうし

NO.88 11夏

食べた、



## シリーズ・七尾市コミュニティバス 「ぐるっと7」で巡る七尾の旅 ②

### 今回の目次

※シリーズ・七尾市コミュニティバス「ぐるっと7」で
---------------------------

#### 巡る七尾の旅 ②

• 青山彩光苑、正面玄関

・プロローグ(前置き)	2

直道士士七尾線	3

目 法 士 士 上 尼 娘	古浄七面へ下る	4

•	直津町内散策	•	石材店近辺	5

- ・正八幡神社前、注意看板と案内板
- ・ぐるっと7・直津バス停近辺 7
- ・七尾田鶴浜バイパス 7

#### ※「脳性麻痺者の二次障害(頚椎症)」

について語ろう会

**※第4回北陸ボッチャオープン大会** 10

※地域サポートハウス「楽生」の

ホーム「はっぴい」・ホーム「すまいる」 11

※私たちも被災地を応援 12

この機関紙は障がいのある人、ない人が自由に考えを出し合い、主義・主張を越えて、お互いを理解し合う中から共に生きる豊かな社会を作っていくことを目的として発行しています。

## シリーズ・七尾市コミュニティバス「ぐるっとフ」で巡る七尾の旅 ②

#### ○コミュニティバス「ぐるっと7」を使って七尾の名所散策・人との出会いを求めて

### プロローグ(前置き)

「ぐるっと7・西回りコース」は「2001年 青山彩光苑障害者週間」の企画で「七尾市に 車いすで乗車できるバス『まりん号』を彩光 苑へ」を合い言葉に運動、署名活動を行い、 夢を実現させたものです。

この署名活動は、車いす生活者だけではなく、高階・直津・赤浦地区の住民や、小丸山小学校に通学する児童の足の確保のためにも皆が力を合わせ行いました。青山彩光苑の利用者・職員・地域住民・地元選出の市会議員などが参加し、武元七尾市長に車いすが乗車できるコミュニティバス運行の陳情をしました。

その運動の成果が実り、2002年11月より七 尾駅から恵寿総合病院・能登総合病院・青山 彩光苑を経由し高階地区を結び、車いす2台 が乗車できるコミュニティバスの運行が開始 しました。

今後、青山彩光苑~七尾駅の停留所を数年 かけてデジカメで撮影し、観光やバリアフリー状況を取材して報告したいと思います。



正面玄関の看板からスタート



### 青山彩光苑・正面玄関



正面玄関に設置のバスに乗るスロープ



スロープは職員の手作り。木製ですが頑丈 で安全。能登総合病院にも設置しています。

ここまでは企画全体のプロローグ(前置き)。 前号からの続きは次ページより→

#### 前号からの続き↓



①青山彩光苑正面玄関を出ました

## 県道・末吉七尾線



②正面玄関·職員駐車場



③苑の私道から県道へ



④苑前の県道には歩道があります



(七尾市青山町~直津町)





⑤利用者の安全のために、案内看板



⑥ある6月の直津方面のお地蔵さん



⑧カーブが多いことがわかる

## 県道・末吉七尾線、直津方面へ下る



⑦青山彩光苑を出発し、県道七尾末吉線を 電動車いすで直津方面へ走っています。





⑨ダンプが通り、歩道もないので危険



⑩車が来ると危険

今は写真のようなカーブも多い坂道で、車いすでは危険ですが、新しい道路ができると歩道も造られ、安心して外出ができるようになることを期待しています。



⑪見えてきた田んぼ

## 直津町内散策・石材店近辺

苑から曲がりくねった県道を抜けると、石 材店があります。ペットの墓もあったので撮ってみました。犬も猫も家族と過ごした大切な一員。安らかな最期にしてあげたいですね。



⑫直津町の石材店



(13)ワンチャンのお墓もあります



(4)石材店の近くにある道路標識

撮影に行った日は曇っていました。石材店 のそばにある畑に咲いているケイトウに蝶が 止まったのでパチリ。ありがとう蝶さん。



⑤ケイトウに蝶・シャッターチャンス



16直津町内を流れる小川

## 正 八 幡 神 社 前注意看板と案内板

神社前に「車いすの方、歩行車あり」「青山彩光苑」の看板があります。





⑪正八幡神社前の案内看板

### 正八幡神社



18正八幡神社の鳥居



19神社の灯籠

#### 正八幡神社について

往古より本殿は存在せず、海より上がり給う一大霊石を以て、御神体とされたそうです。また直津の由来も面白かった。御神体は海より上がり給ったと云われ、この地はすべて海に沿った所であって、赤浦松百の入江である故に直津の村名がついたようだ。通称八幡宮と称され、明治5年村社に列し、同6年現社名に改称されたそうです。

新年は門松が飾られ、春と秋のお祭りには 幟旗が立てられています。



②神社の境内



## ぐるっと7・直津バス停近辺



②1) 直津インターチェンジの案内



② 直津バス停・車いすの乗降は不可能

青山彩光苑からバスに乗り、最初の停留所です。車いすの人もふと降りたいと思います。 せっかく広い歩道があるのなら、車いすも乗 降できるといいですね。





②3 七尾田鶴浜バイパスの案内



②和倉ゴルフ倶楽部



②5 このバイパスから七尾市内へ行けます



②6 ぐるっと7はバイパスを通らず、赤浦方面 を通って行きます。

~次号へ続く~

### 「脳性麻痺者の二次障害(頸椎症)」について語ろう会

#### 【はじめに】

前号から取り上げている「脳性麻痺の二次 障害」の第一弾の企画として、当機関紙・編 集委員会の主催、社会福祉法人徳充会「青山 彩光苑」の後援で講演と懇談会を行いました。

今回は懇談会の企画内容と当日の様子を写真にて紹介し、次号から講演と懇談会の内容 を掲載していきます。

#### 【企画の経緯】

最近、脳性麻痺を伴う友人が手足のしびれ、 痛み、頸の痛みを訴えたり、頸の手術を受け た、頸の障害・加齢とともに歩行が困難にな ってきたなど、という話を多く聞くようにな りました。

同じ悩みを持たれる方の体験を聞き情報交換をし、脳性麻痺者の二次障害(頸椎症)の正しい知識と理解につながることで、生活の場面で役立つことになればと思い企画してみました。

#### 【目的】

同じ悩みを持っている方たちの話し合いに よって、悩みや痛み解消の情報交換・学ぶ場 にしたい。

#### 【日 時】

2011年5月25日(水) 13時30分~15時30分

#### 【場 所】

「青山彩光苑」西館一階 多目的ホール

#### 【参加者】

2次障害の当事者、医師、看護師、相談員、 ケースワーカー、作業療法士、理学療法士

#### 【主 催】

「HSK季刊わたぼうし」編集委員会

#### 【後 援】

社会福祉法人徳充会「青山彩光苑」

#### 【プログラム】

#### ①講 演

演 題:「二次障害の概要と手術」

二次障害とはどのようなものか?の講演、 講師の発症から痛みとの戦い、手術の決断、 リハビリ、職場復帰までの体験を語る。

#### 講師:

特定非営利活動法人 「自立生活支援センター富山」

理事長·平井 誠一氏

#### ②座談会

参加者の体験、持っている悩みを語っても らい、痛みの癒やし方法などを話し合う。

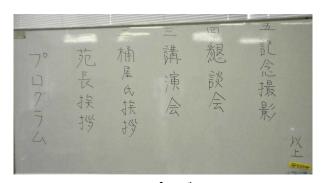
何人かの手術を受けた人たちの話を交えて 話し合う。

#### 座談会司会

特定非営利活動法人

「自立生活支援センター富山」 事務局長・浅木 裕美氏

# 三次道書について語る5号



当日のプログラム



パワーポイントを使って講演中



青山彩光苑・今寺苑長あいさつ



手作りの頚椎の模型を使って説明



講師の平井氏、浅木氏



後半の懇談会。頸の痛みの解消方法は?

### 第4回北陸ボッチャオープン大会

日 時: BCクラスの部 平成23年6月4日(土) オープンクラスの部 平成23年6月5日(日)

場 所:いしかわ総合スポーツセンター(金沢市春日野町)

「第4回北陸ボッチャオープン大会」BC の部に出場し、様子を取材して来ました。

『ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度 脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障 害者のために考案されたスポーツで、パラリ ンピックの正式種目です。

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。』(ホームページより)

#### BCの部(手で投げる人)



左が全日本代表選手BC1クラス柴山友里子選手(青) 右が高校生(赤)です。白ボールに近くが柴山 選手の青ボール、遠い4つは高校生の赤ボール。



#### BCの部(ランプを使う人)

上肢に障害があるため、ボールを投げることができない人が写真のようなランプという 用具を使い、介助者にランプの角度、方向、ボールを置く位置などを指示を出して投球するクラスです。



介助者は審判の指示があるまでコートを振 り向くことは禁止されています。



手前が全日本強化指定選手BC3クラス田中恵子選手

#### 第7回石川県ボッチャ大会

場 所:津幡運動公園体育館 BCクラスの部 10月29日(土)受付9:00~ オープンクラスの部 10月30日(日)受付9:00~ 一般社団法人「つながり」 らっきい

### 地域サポートハウス「楽生」のホーム「はっぴい」ホーム「すまいる」

羽咋市の地域サポートハウス「楽生」が、 空き家を改造し、知的・身体を対象とするグ ループホームを視察してきました。





玄関には車いすで入ることができるようにス ロープがあります。



手すりを付け、入浴がしやすくなっています。



台所。自分たちで食事を作っています。

#### 利用申し込み方法

楽生に直接相談をしてください。現在のと ころ、2軒のホームで定員12名で、空きがな い状態です。

#### <u>1ヵ月の必要経費</u>

家賃8,000円。食費、光熱水費、共益費の合 計で一人あたり月額42,000円。

#### <u>介助者</u>

世話人(生活支援員)が常駐、夜間も当直 体制で支援にあたります。



一般社団法人「つながり」 地域サポートハウス「楽 生」

〒925-0025 石川県羽咋市太田町い15 Tel • FAX/0767-26-0807

E-mail:tunagari-lucky@ial.itkeeper.ne.Jp

H S K

毎月十二

五・八・十・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)

## Wes some and

青柏祭で賑わう5月4日(水)。七尾市の能登 食祭市場において、市内の中学生たちが東日 本大震災の被災地の復興を願って募金活動を 行っていました。明るい笑顔と大きな声で募 金を呼びかけていました。





#### 年間協力会員募集中

この機関紙は障がいのある人、ない人が それぞれの考えを出し合う中から、互いに 理解を深め、共に生きる豊かな社会づくり を目的として、有志により発行しています。

つきましては、主旨に賛同して協力会員になっていただく方々を募集しています。

この会費で、在宅障がい者や福祉関係機 関等に送付していますので、機関紙一部の 料金ではなく、年間協力会費として扱って います。

> 年間協力会費:2,000円 会費振込先:郵便振替口座 振込先名義:わたぼうし連絡会 00750-6-9791 送 付:春、夏、秋、冬

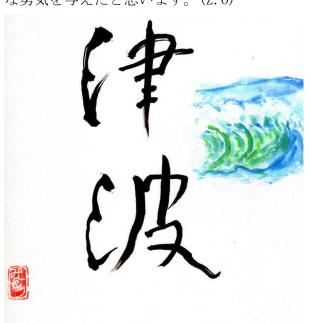
#### 編集後記

こんにちは。連日猛暑が続いていますが、 熱中症に気をつけたいですね。

さて、東日本大震災から4ヶ月が過ぎましたが、復興に向けて頑張っている姿の報道を見ていると、目に涙が浮かんできます。

テレビで会社・自営業の再建を自分のためでなく、同じ被災に遭って人たちが助け合っている姿が連日流されているのを見ると、自分たちも頑張って行こうと思います。

女子サッカーのワールドカップで「なでしこジャパン」の金メダル獲得は被災地に大きな勇気を与えたと思います。(Z.0)



筆を口にし描いた作品・大積みどり氏

#### 編集及び連絡先

ホームページを移動しました。 http://jiritsusien.com/ Eメール: zen@san9.net